

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	みらい創生学園神辺校		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		～ 2025年12月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2025年12月 1日		～ 2026年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・体験活動を通して、生きる力の醸成を意識している	・基本的な生活習慣(手洗い・トイレ・食事・調理学習等) ・生活スキルの向上を目指し、資質・能力に応じた支援 ・買い物学習・調理学習等、実生活につながる活動の充実 ・畑、果樹園、田んぼ等での、栽培・収穫・販売等の活動	・発達段階や個別の障がいの状況に応じた目標の設定 ・体験活動を通して、自信・達成感や自己肯定感の醸成
2	・多様な学習支援・運動発達支援を可能とする取組み	・経験豊かなスタッフが、個に応じた学習支援を展開する ・学習習慣の定着を目標に、つまずき・困り感の把握手立 ・プレイルームでの、ボルタリング・スイング・バランスボール・トランポリン・卓球活動等、多様な運動活動等 ・教室外での運動、散歩、あいさつ、探索等、社会学習等	・つまずき・困り感の克服と学習習慣へのプログラム ・個々の発達段階に応じた学習・運動支援具の工夫等 ・多様な能力を引き出す、個別・小集団体制の工夫等
3	・キャリア発達に向け、小集団支援、自己表現・自己理解	・集団、グループ支援を編成し、遊び、学習、体験活動等 ・始まり、終わりの会で、自己を見つめ・他者を理解する ・コミュニケーション力を図る、あいさつ、注目の励行等 ・自己の夢・目標を大切に、多様な活動・関わり方等	・将来の生活力向上・就労意欲に繋がる個・集団づくり ・キャリア発達に向けた、小中高校等に応じた活動内容 ・社会参加・社会資源の活用に関わる、活動等の工夫

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・重度の障害のある児童生徒への支援体制づくり	・集団指導中心型の支援体制であり、個別指導体制が困難	・小集団活動をもとに、支援体制の創意工夫を図る
2	・地域社会との交流及び外部活動・連携の在り方	・交流活動の連携や社会資源の活用及び関わりが不十分	・地域の環境の把握、交流の在り方・工夫改善の推進
3			